

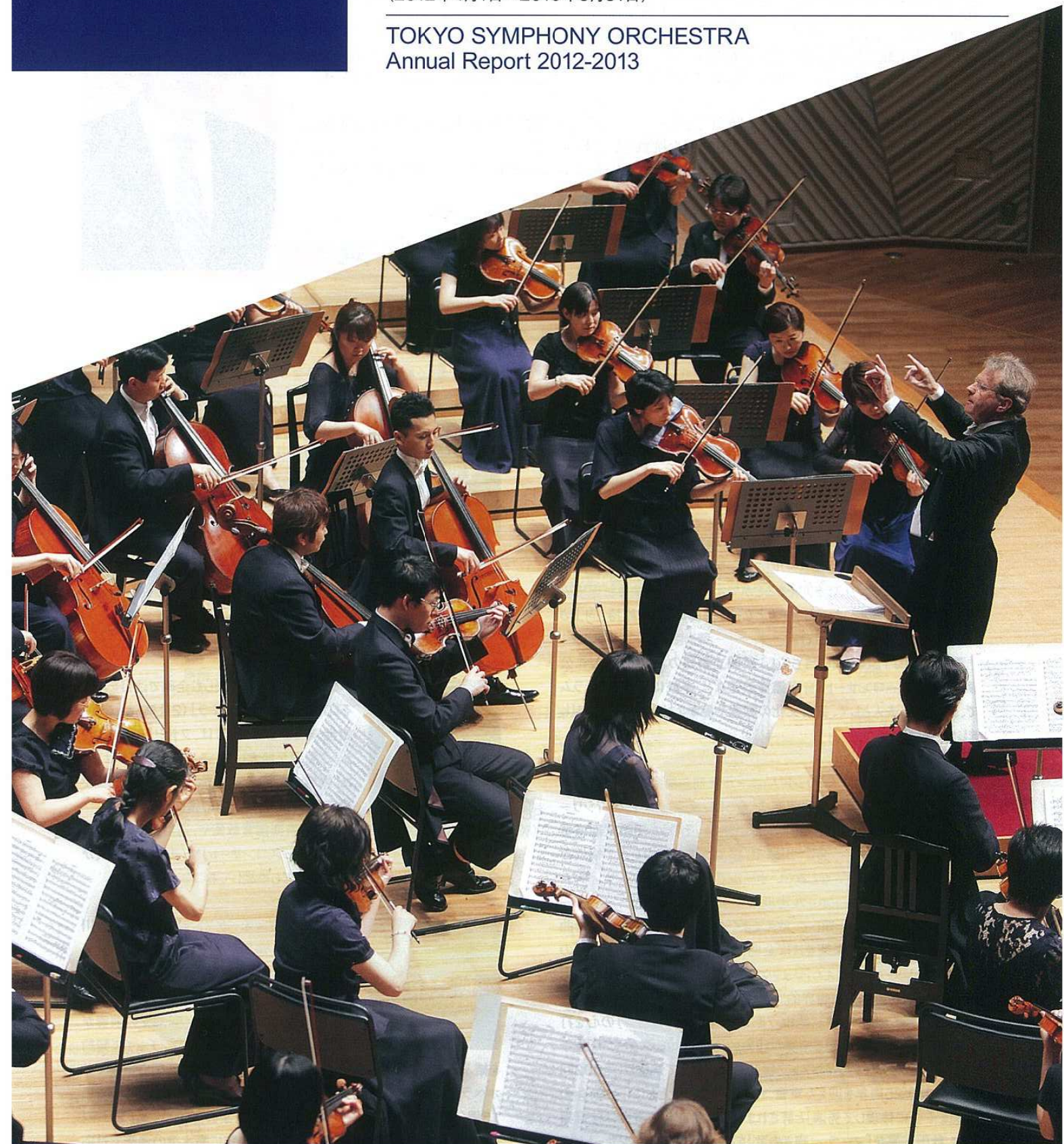


TOKYO
SYMPHONY
ORCHESTRA

2012年度 (平成24年度) 年次報告書

(2012年4月1日~2013年3月31日)

TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA
Annual Report 2012-2013



公益財団法人 東京交響楽団

Message

ご挨拶

2012年の9月から理事長に就任し、東京交響楽団の運営に携わって1年近くが過ぎました。私にとって全く新しい分野への挑戦となり、オーケストラという公益性を認められた団体の運営と芸術文化への貢献に意義を感じ、真摯に取り組んでおります。

東京交響楽団は首都圏にありながら、2011年の大地震の影響を大きく受けたオーケストラです。そのミュージアム川崎シンフォニーホールも2013年4月に音楽監督スターンの指揮するブルックナーの演奏会でリニューアルオープンし、来年には新音楽監督ジョナサン・ノットを迎えて新しい時代に入ろうとしています。

理事長就任時に掲げた“世界で勝負できるオーケストラ”という目標を実現するべく、3年後に控えた創立70周年を見据えて、これからも積極的な挑戦をしてまいります。

日頃の皆様のご協力とご支援に心からの感謝申し上げ、ここに2012年度の年次報告書をお届け致します。

公益財団法人 東京交響楽団

理事長 澤田 秀 雄



Activity Report

2012年度活動概要

昨年度に引き続き、地震の影響でミュージアム川崎シンフォニーホールが、使用できない中での演奏活動となり、チケットの販売が落ち込み、財政面では減収となりました。

同じ川崎でもホール、地域を変更して開催した影響は大きく、その利便性や音響の良さから、開館から7年でもミュージアム川崎が市民に愛されるホールとして成長していかをあらためて認識することになりました。

音楽面では、音楽監督ユベール・スターンをはじめとする優れた音楽性を持つ指揮者やソリストを迎えることができました。また、楽員が環境の違う練習所やホールに対応し、一丸となって演奏レベルを維持、向上させるため努力を致しました。

演奏回数は158公演に持ち直し、新国立劇場のオペラやバレエ公演、チャリティコンサート、音楽鑑賞教室など、多岐に亘るプログラムで、公益財団法人として、芸術文化の振興や豊かな社会づくりに貢献しました。

定期演奏会

サントリーホール定期演奏会 全10回、川崎定期演奏会 全5回、東京オペラシティシニアズ 全6回を行いました。そのうち川崎定期演奏会は、川崎市、横浜市のご協力を得て横浜のみとみらいホールで開催致しました。サントリーホール定期演奏会では、<マーラー・リーダー(歌曲)・プロジェクト>と題して、敢えてよく演奏されるマーラーの交響曲ではなく、歌曲の管弦楽版をほぼ全曲演奏しました。中でもパルトンのローマン・トレケルを迎えた「リッケルトによる5つの詩」(第604回定期指揮=尾高忠明)や、世界的コントラリト ナタリー・シュツツマンを迎えた「亡き子をしのぶ歌」(第607回定期指揮=スターン)の心を打つ歌唱と作品の深奥に迫る演奏が印象的でした。また、スターンが長年あたためてきたリストのファウスト交響曲を、満を持して演奏し(第602回定期)、創立25周年を迎えた東響コーラスの歌唱とともに「スターンの意図を十全に体現して秀演」と評されました。3月定期演奏会は桂冠指揮者 秋山和慶が「マーラー：嘆きの歌」を初稿版で演奏、コンサートはライブ録音され、2013年6月にCDを発売しました。

特別演奏会

当楽団の年末年始公演の定番となっている「第九と四季」(2公演)「ニューイヤークンサート」はいずれもチケットが完売しました。中村紘子をソリストに迎えたニューイヤークンサートは、オリンパスホールハ王子でも開催して好評を博しました。

ミュージアム川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)との共催公演「名曲全集」は、川崎市教育文化会館で行い、中国人指揮者ジャン・ジャン、26歳のフィンランド人指揮者ロウヴァリ、またチェリストから指揮者に転向したハンナ・チャンなどフレッシュな顔ぶれが好演しました。

青少年育成プログラム

幼い頃から音楽を楽しむ企画で注目を集める「0歳からのオーケストラ」(2公演)と「こども定期演奏会」(4公演)は、ファミリー層のクラシック需要が拡大していることがうかがわれました。内容のさらなる充実や、チケットを低料金で設定するため協賛企業の獲得が課題です。

川崎市内でホールを使用している音楽鑑賞教室や、巡回公演、新潟市の小学5年生を対象にした「わくわくキッズコンサート」や、小学校で楽員が音楽の授業を担当する学校訪問なども継続しておこなっています。

依頼公演

フランチャイズオーケストラとして活動する川崎市内では、音楽監督スターンが指揮する「モーツァルト・マチネ」(4公演)やフェスタサマ・ミュージア(3公演)などを行いました。特に定評のあるスターンのモーツァルトはその演奏が円熟期を迎えています。準フランチャイズ契約を結ぶ新潟では定期演奏会で年6公演演奏したほか、新国立劇場ではオペラ3演目・バレエ1演目全22公演を演奏し、特に新国立劇場開場15周年記念公演「アイダ」は大いに注目を集め、またバレエ「ジゼル」はDVDブックとして発売されました。多様な内容に高水準の演奏で対応できるオーケストラとして、引き続き多くの公演依頼をいただいています。

Fiscal Report

財産・運営状況について

正味財産増減計算書の概要

(単位:千円)

科目	2012年度	2011年度	2010年度
経常収益計	1,163,201	1,111,848	1,271,654
内:事業収益	961,039	926,881	1,113,508
内:受取補助金	105,060	112,100	107,084
内:寄附金(賛助・維持会費)	30,600	30,800	30,075
内:寄附金(一般)	62,142	37,623	15,075
経常費用計	1,165,352	1,142,977	1,285,056
当期経常増減額	△2,151	△31,129	△13,402

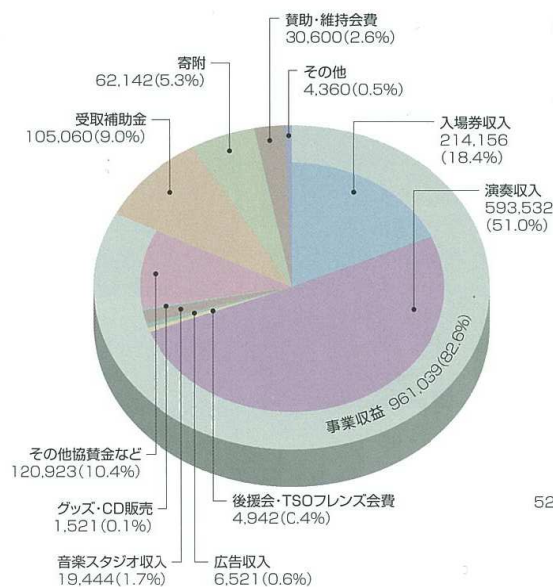
2011年度は、演奏会の中止や会場・日程変更に伴うチケットの払い戻しなどによる減収がありましたが、2012年度は、「川崎定期演奏会」は横浜のみとみらいホールで、「名曲全集」は川崎市教育文化会館で行った結果、集客に影響が出ました。両会場とも今まで当楽団が定期的に演奏会を開いていない会場であること、また川崎市教育文化会館については立地している環境も影響してか、予定していたほど

の集客はかなわず、震災前に比べて大きく落ち込みました。

主催公演が落ち込んだ一方で、依頼公演は例年に比べ収入を多く得ることができました。依頼公演の回数が2011年度に比べ2012年度は10回多かった他、オーケストラ形態ではなく、小編成のアンサンブルという形で公演を多く行いました。その結果、依頼公演の事業収入で主催公演の苦戦を補うことができました。

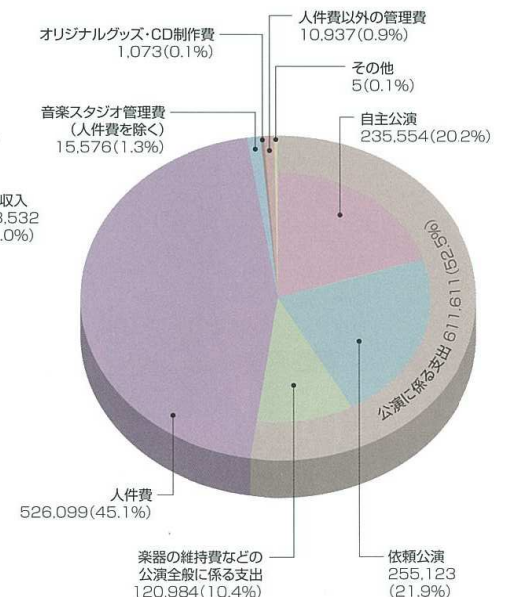
収入(H24年度) 1,163,201

(単位:千円)



支出(H24年度) 1,165,352

(単位:千円)



Across the 2012/13 Season

演奏記録(全158公演)

●自主公演(43回)

定期演奏会(第599回~第608回)	10回
川崎定期演奏会(第35回~第39回)	5回
東京オペラシティシリーズ(第67回~第72回)	6回
名曲全集(第76回~第85回)	10回
こども定期演奏会(第41回~第44回)	4回
特別演奏会	8回

●依頼公演(113回)

新潟定期演奏会(第71回~第76回)	6回
オペラ・バレエ公演	26回
音楽鑑賞教室・青少年のためのプログラム	22回
その他	59回

●その他の事業(2回)

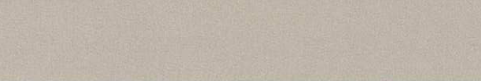
放送録画	1回
録音	1回



- 1 フェスタ・サマーミュージザKAWASAKI 2012 (撮影:青柳聡)
- 2 マエストロシート(主催公演に親子をご招待)
- 3 新国立劇場開場15周年オペラ「アイーダ」(撮影:三枝近志)
- 4 楽器体験(こども定期演奏会)2012年9月
- 5 中野島小学校での演奏2012年6月(川崎市)



- 6 新潟りゅーとびあじルベスターコンサート2012
- 7 マーラー「嘆きの歌」秋山和慶指揮 サントリーホール2012年3月
- 8 四谷小学校での演奏2012年10月(新宿区)
- 9 リスト「ファウスト交響曲」ユベール・スターン指揮 2012年7月
- 10 「0歳からのオーケストラ」2012年4月



Members

サポート会員 (2013年8月17日現在)

賛助会員

法人

アサヒビール株式会社	タレントピアノ音楽院
アムス・インターナショナル株式会社	株式会社ティワイリミテッド
イーサポートリンク株式会社	テルモ株式会社
出光興産株式会社	テレビ埼玉ミュージック
株式会社伊藤総合事務所	東海大学教養学部芸術学科音楽学課程
株式会社エイチ・アイ・エス	日本産業パートナーズ株式会社
株式会社NHKビジネスクリエイト	株式会社野毛印刷社
公益財団法人青梅佐藤財団	ハウス食品株式会社
花王株式会社	ヒノキ新薬株式会社
川崎信用金庫	株式会社文化放送開発センター
きわむ元氣塾	本田技研工業株式会社
株式会社紅豆杉	株式会社ヤナセ
学校法人香蘭女学校	山崎製パン株式会社
サントリーホールディングス株式会社	ヤマザキ・ナビスコ株式会社
株式会社サンリオ	横浜自動車部品株式会社
すかいらーくグループ	YKK株式会社
社会医療法人財団石心会	株式会社ライブ・マーケティング
高瀬物産株式会社	リッチモンドアセットマネジメント株式会社
玉川学園・玉川大学	

個人

阿久津政明	信川高寛
伊藤美樹	原 義勝
岡橋純男	堀新太郎
鷺海量明	山口知子
桂木昌子	横川 寛
佐藤敏明	横川 端
澤田秀雄	依田 巽
清水尚彦	遠邊秀男
ヨーコ・ナガエ・チェスキーナ	
遠山信之	匿名3口

維持会員

阿久津喜代子	有限会社青史堂印刷
朝倉徳道	高津麻子
アーネスト・M・比嘉	高島琢己
荒木陽子	田口之博
飯塚十四正	株式会社タツノヤ商会
池田和行	立岩孝之
磯村文靖	寺尾嘉剛
井之上隆太	東京IK倶楽部
植野道雄	戸川二郎
梅沢麻衣	中里悠光
大河原毅	流山なかよし保育園
大河原愛子	成田三千代
岡 邦子	成瀬倉祥
岡田 元	西谷律子
岡野一哉	ニッシンエレクトロ株式会社
岡橋 孜	株式会社日本ヴァイオリン
鬼澤 修	株式会社ビーエーイー
梶井龍太郎	プイ・エス・エルジャパン株式会社
片山泰輔	マブチモーター株式会社
金子 元	町田孝治税理士事務所
草野真由美	村本信幸
後藤直人	村本京子
小林 光	森田富士男
小林文博	八鍬 昭
駒崎慶夫	山口 学
古丸 健	山下芳彦
小山治彦	山田長満
近藤和喜夫	山本 工
斎藤脩司	山元浩司
酒蔵駒八 別館	遊園電子工房
佐久間啓一	横川 端
迫田清己	極上金かすてら 横浜文明堂
佐々木真	米岡修一
真田勝美	米崎雅子
椎名武雄	吉田治喜
塩沢誠司	吉村美恵子
株式会社シグマコミュニケーションズ	和田建築株式会社
清水幹雄	
城南信用金庫	匿名8名
鈴木成高	

東京交響楽団 Orchestra

■音楽監督	ユベール・スダーン
■桂冠指揮者	秋山和慶
■常任指揮者	大友直人
■正指揮者	飯森範親
■首席客演指揮者	クシユトフ・ウルバンスキ
■永久名誉指揮者	アルヴァ・ヤンソンス / 上田仁 / 遠山信二
■ソロ・コンサートマスター	大谷康子
■第1コンサートマスター	グレブ・ニキティン
■コンサートマスター	水谷 晃
■アシスタント・コンサートマスター	田尻 順 / 廣岡克隆

会 長	横川 端	評 議 員	梅沢 一彦
理 事 長	澤田 秀雄		鷺海 量明
副理事長	平澤 創		鬼澤 修
	依田 巽		高橋 達彦
専務理事	大野 順二		西村 朗
業務執行理事	中塚 博則		星 久人
理 事	阿部 武彦		松木 康夫
	池辺晋一郎		山下 芳彦
	伊藤 美樹		横川 寛
	庄司 薫	特別顧問	阿部 孝夫
	南部 靖之		飯島 延浩
	西室 泰三		山田 長満
	福川 伸次	最高顧問	金山 茂人
	渡邊 秀男		岩本 良彦
	田村慎太郎	顧問	田村慎太郎
常任監事	寺西 基之		備谷 了英
監 事	西 基之		松本 傳 (公認会計士)
評議員長	金山 茂人	会計監査人	

1st Violins ○木村 正貴 ○小林 亮子 ○堀内 幸子 大和田ルース 小川 敦子 加藤 幸子 小関 郁 立岡百合恵 吉川 万理	Violas ○青木 篤子 ○武生 直子 ○西村 真紀 ○山廣 みほ 安藤 史子 加護谷直美 小西 応興 鈴木まり奈 永井 聖乃 松崎 里絵 森 みさ子	北村 一平 小林 照雄 安田 修平	Bassoons ○福井 蔵 ○福士マリ子 大埜 展男 坂井 由佳	Tuba ○渡辺 功	楽団長 大野 順二
2nd Violins ○坂井みどり ○清水 泰明 ○服部亜矢子 ○加藤 まな ○福留 史絵 阿部 真弓 板垣 琢哉 上原 未莉 小川さえ子 塩谷しずか 竹田 詩織 野村 真澄 日野 奏 渡辺 裕子	Cellos ○伊藤 文嗣 ○西谷 牧人 ○川井真由美 ○黄原 亮司 ○謝名元 民 井伊 準 樋口 泰世	Flutes ○相澤 政宏 ○甲藤 さち	Horns ○上間 善之 ○大野 雄太 ○ジョナサン・ハミル 甲田 幹雄 大和田浩明 阪本 正彦 曾根 敦子	Timpani & Percussions ○奥田 昌史 ○新澤 義美 天野 佳和 武山 芳史	編成局長&パーソナル・マネージャー 藤原 真
		Flutes & Piccolos 高野 成之		Librarian 武田 英昭 前田健一郎	楽团委員 相澤 政宏 大隅 雅人 大野 雄太 北村 一平 木村 正貴 最上 峰行
		Oboes ○荒 絵理子 ○池田 肇 最上 峰行	Oboe & English horn 篠崎 隆	Stage Manager 今村 和弘 山本 聡	事務室長 中塚博則
		Clarinets ○エマニュエル・ヌグー ○吉野亜希菜 小林 利彰 近藤千花子	Trumpets ○佐藤 友紀 ○澤田 真人 大隅 雅人 野沢 岳史	楽務員 鷹栖 光昭	事務局 池田瀬津子 梶川 純子 菊澤 布美 佐藤 雄己 高瀬 緑 武田 華子 辻 敏 豊山 悟 美濃部 敦 森田 祐世 山田 道子 渡辺 美江
		Double Basses ○笠原 勝二 ○加藤 信吾 ○渡辺 哲郎 ○久松 ちず	Trombones ○大馬 直人 ○荻野 昇 ○鳥塚 心輔	首席奏者 ○フォアシューラー	クラシックスペース★100 西脇 秀治 吉田 典正
					名誉団友 深江 泰輔 三木 晴雄

Biography



1946年創立。音楽監督にユベール・スダーン、桂冠指揮者に秋山和慶、常任指揮者に大友直人、正指揮者に飯森範親、首席客演指揮者にクシユトフ・ウルバンスキを擁する。2014年度からはジョナサン・ノットが音楽監督に就任する。年間150回以上の公演を行い、新国立劇場ではレギュラーオーケストラとして毎年オペラ・バレエ公演を担当。現代音楽の初演などにより、文部大臣賞、音楽之友社賞、京都音楽賞大賞、毎日芸術賞、文化庁芸術作品賞、サントリー音楽賞などを受賞。2012年度より設けられた文化庁「トップレベルの舞台芸術創造事業＜年間支援＞」初年度4オーケストラに選定されている。川崎市のフランチャイズ、新潟市の準フランチャイズ・オーケストラとして地域での活動にも力を入れている。教育面でも「子ども定期演奏会(サントリーホールとの共催)」「10歳からのオーケストラ」を行い注目を集めている。海外公演も数多く、これまでに53都市71公演を行っている。 HP <http://tokyosymphony.jp>



TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA

～皆様からのご支援お待ちしております～

東京交響楽団の活動は個人・法人の皆様から寄せられるあたたかいご寄付とともに成り立っています。財政状況や定款、税制上の優遇措置についてはウェブ上でもご覧いただけます。

ご質問等ございましたら東京交響楽団川崎オフィス支援開拓本部までお問い合わせください。

公益財団法人 東京交響楽団

Tel:044-520-1518 <http://tokyosymphony.jp>

本部 〒169-0073 東京都新宿区百人町2-23-5

川崎オフィス 〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー5階

2013年9月13日発行